

京都スキー協通信 No.284

新日本スポーツ連盟京都スキー協議 2025.12.14
URL:<https://wsak.cava.jp/index.html>
発行責任者/小山孝夫

編集者/矢吹明弘・森田英二・原 龍治・中島 剛・佐野 薫・和田三郎



総会時確定/9クラブ、96人 スキーメイト40部→(10月現在9クラブ、94人、40部)

京都スキー協 第56回定期総会



2025年度の総会が終わり、新しい役員体制が確定しました。いよいよ新年度の取り組みを相談しながら実施していきたいと思っています。

三役に若い方が入っていただき、技術部長も十数年ぶりに若返りました。スキー業界はまだまだ大変な状況がありますが、新たな役員さんと相談しながら少しでも前に進めて行きたいと思っています。

今、全国的にも会員がなかなか増えにくく減少傾向にあります。様々な工夫をして会員を増やしている府県やクラブもあります。京都スキー協の全会員の英知を集めて、会員を増加に転じたいと思っています。会員の皆さん、是非ともご協力をよろしくお願ひいたします。



(運営委員長 小山孝夫)

総会の主な議事録

8月3日、第56回京都スキー協議会定期総会が京都教育文化センターで開催されました。現地参加と北部からのZoom参加を合わせて、代議員10名と委任2名、運営委員および会計監査13名が出席しました。総会は、シティスキークラブの早川さんの司会、小山運営委員長の開会挨拶で始まりました。議長には、前半をバーディカルの刈谷梓さん、後半をシティスキークラブの中島千夏子さんが務めました。

議事では、2024年度の取り組みの総括として、初めて兵庫県ハチ高原で実施されたジョイナススキーツアーなどが報告され、2025年度の活動方針案、2024年度決算、2025年度予算がそれぞれ採択されました。また、規約の役員9条2項の改正も行われました。

クラブ報告では、後継者問題に明るい兆しが見えるような発言があり、雪おこしクラブによる親子スキー教室の開催や、びわ湖バレイスキー場からの指導員派遣に関する体験談も共有されました。

2025年度の新役員体制

- ・運営委員長 : 小山孝夫
- ・副運営委員長 : 森田英二
- ・ // : **早川雅博**
- ・事務局長 : 佐野 薫
- ・会計 : 羽賀美恵子
- ・会計監査 : 二宮裕昭
- ・ // : **中山 嘉**

・技術・指導員部

- 部長 : **藤岡孝之** 副部長 : 森田英二
部員 : 早川・小山・星・佐野・瀬戸
矢吹

・競技部

- 部長 : 坂下和修
部員 : 刈谷・内藤・小山・丸山

・企画部

- 部長 : 早川雅博
部員 : 矢吹・佐野・佐々木

・山スキー部

- 部長 : **三上環**

・安全対策部

- 部長 : 星幸敏

※各クラブより担当者1人選出

・機関紙部

- 部長 : 矢吹明弘
部員 : 森田・和田・原・**佐野**

ホームページ担当 : 中島剛

・全国への通信送付

(機関紙部で)

・SNS部

部長 : **早川雅博 中島剛**

・スキーメイト部

郵送担当 : 森田英二

会計 : 佐野薰

・関西ブロック役員

小山(事務局長)

京都代表 : 小山が兼任

・関西ブロック競技委員

: 坂下

・関西ブロック山スキー委員

: **森田**

・関西ブロック技術委員

: 森田・小山・佐野・藤岡

・新日本スポーツ連盟府連盟

理事 : 佐々木豪

・全国技術部員

: **藤岡孝之**

・全国競技部員

: 坂下和修

・全国山スキー部員

: **三上環**

・全国理事

: 小山孝夫

(太字は新たな方です)

※パッピーターンの連絡係 : 浅野輝男

主な質疑応答、発言、近況報告

＜主な質疑応答＞

- Q・予算書項目において“府連盟分担金”と“府連盟外参加負担金”の違いについて説明してほしい。
- A 府連盟分担金は会員の分担金、府連盟外参加負担金は会員外の負担金です。
- Q・府連盟分担金が多いのは、なぜか？
- A 府連盟で事務所を借りており、その負担が大きいためです。
- Q・活動費補助の支出が競技部以外ゼロだが元々どのような使途が想定されているのか？
- A 明確な使途は想定していないが、何か必要な物品等が出てきたとき支出するためです。運営委員会に諮って、必要と判断されれば支出可能です。
- Q・先シーズン、京都スキー協で初級指導員検定会を実施したが、活動費補助として支出は可能か。
- A 運営委員会で検討したい。
- Q・規約改定により、運営委員が出てこな

いクラブの実情把握とフォローワー体制に懸念を示す。

A 未選出のクラブについては、運営委員会で対応を検討。クラブの実態を把握し、連絡員の形でつながり、企画への参加も促していく。

＜要望等の意見＞

- スマホにも対応したホームページに早くリニューアルをしてほしい。
- ウィークデーツアーがなくなるのは残念、日帰りツアなども検討してほしい。
- ツアでの班分けで、“ゆっくりグループ”も作ってほしい。
- 関西ブロックの検定会に参加したがいろんな意味で自己負担が大きかった。できれば京都スキー協において定期的に検定会を実施してほしい。
- 全国スキー協の技術部員として、教程の普及状況や課題を各クラブから意見収集中。琵琶湖バレイSIAスキースクールで指導員登録を行った。

【SNS部新設について：早川雅博】新設されるSNS部では、スキー協のインスタグラムを起ち上げて更新のスピードアップと充実を図っていこうと考えています。ホームページは従来通りの運用を継続し、両者をリンクさせて相互に行き来できるようにすることで、京都スキー協議会を一般にPRしたいと思っています。

掲載内容としては、行事報告、各クラブの活動、スキー協の告知、技術指導委員部の記事などを予定しています。また、チラシやリーフレットの更新もしていきたいです。

【びわ湖バレイで感じた、教える喜び：藤岡孝之】

「琵琶湖バレイスキー場の指導員が不足していて、ちょっと助けてくれへんか」という話が関西ブロックからあったので登録をしてみました。

びわ湖バレイでは学校行事なんかで100人くらい来るときはどうしても指導員が足らなくて、10人くらい指導員をかき集めているそうです。

「SAJ」とか「SIA」といった団体もありますが、実はスキー協は会員としてはSIAより多いそうです。他団体から要請があったら、そういうところにも指導員を派遣するというふうなことになっているので、また行けたらと思います。

子どもたちと半日滑ってスキーの面白さを感じてもらうと、「もう終わるんですか、次また楽しみに来ます」とか言われます。スキー協の宣伝も、スキー界全体の盛り上げみたいなこともやっていきたいと思います。

【雪おこしの親子スキー：瀬戸享明】

昨年度、雪おこしでは「親子スキー」に取り組みました。北部にスキー場があるにもかかわらず、スキー人口が減り、子どもたちがスキーに触れる機会も少なくなっていることが背景にあります。地域にスキー文化を広めたいという思いから、親子で楽しめる場を設けました。将来的にはスキー協の組織強化にもつながればと考えています。

実施にあたっては「そこまでする必要があるのか」「子どもを連れて行くのは大変では」といった声もありましたが、希望者のみで実施する形に。初回は親子3組・約10名が参加し、クラブ員3名が指導にあたりました。親子で滑る楽しさや上達の喜びがあり、終了後には「来年もぜひ」との声や、クラブ入会を検討する親子も現れました。

今後も公民館や地域行事と連携しながら、こうした活動を続けていきたいと考えています。

【スキー協と関わり続けたい：刈谷梓】

なかなか新しい会員が増えないです。病気だとか老化だとか気力がとか、そういう言い訳がとても増えてきて会を畳もうかみたいな話題が出始めたんですが、「なんで私を置いて畳むの?」と言ったら、ちょっと考え直します、となりまして引き止めることができました。

私もこれからいろいろライフスタイルとかの変化もありつつも、うまく適応しながらこのスキー協とは関わり続けていきたいなと思っていますので、引っ張っていける存在になれたらと思っています。皆様見守っていただけますと幸いです。よろしくお願ひします。

＜クラブの近況＞**【望峰・堀田】**

クラブ創立40周年を記念して、12月にカナダ・ウィスラーへの旅行を計画中。約10人での企画が進行中。

【WEスキー・松尾】

今シーズンは野麦峠のほか、梅池と志賀高原にも行った。インバウンドの影響で外国人が多く、食事代が高騰（ラーメン1,000～2,000円）しているのが悩み。

猪苗代スキー場の平日リフト無料を知り、来季の計画に検討中。

【森の会・内藤】

若者の参加が少なく、クラブやスキー

協の高齢化・弱体化を実感。

ジョイナススキーツアーでは役員の参加が多く、クラブからの参加が少なかった。

車の運転が難しくなってきたため、バスツアーの充実を希望。

【シティ・水島】

新設されるSNS部に対し、シティクラブとして早川氏を通じて協力したい意向。

【かぶりこへん・中山】

クラブとしてのスキー行事は実施していないが、毎月「ケーキを食べる会」を非公式に開催中。現在は佐野さんと数組の家族が個別にスキーに行っている状況。

【お祝いメッセージ】

全国スキー協会長・関西ブロック議長・兵庫県勤労者スキー協議会理事長 和田和男様
大阪府勤労者スキー協議会会长 大久保昌司様、滋賀県勤労者スキー協議会会长 村地
兼次様、和歌山県勤労者スキー協議会理事長 池口様よりいただきました。

専 門 部 活 動

企 画 部

- ・低山ハイキング(10/25)雨で中止
- ・黒豆ぼり(10/26)雨で中止

競 技 部

- ・ポール陸トレ(10/18)梅小路公園にて開催
参加者9人中2人は初参加。

技術・指導員部

- ・部会(9/13)オンライン開催
- ・指導員会議(11/2)Zoom開催
会議に引き続き「初級指導員理論研修」をおこなう。

①スキー協の活動（藤岡）②スキーの技術と指導法（森田）③組織運営と指導員の役割（藤岡）④スキー事故の予防と対応（藤岡＊星）⑤指導員既定の理解と運営（佐野）。
（予定）・指導員雪上研修会2026年1/17(土)～18(日)ハチ高原、宿はジョイナススキーと同じ「このはな」＊指導員を目指す人は参加可能。

*9/13技術・指導員部会にて選出された
新技術部長・藤岡孝之さんのあいさつ

今年度よりスキー技術部長に就任した藤岡です。技術部長は長く森田さんがやってこられましたので同じようにできるとは思いませんが、自分なりに全国スキー協のスキー技術を京都スキー協の皆さんに伝え

たいと思っています。

またこの機に自分自身も勉強してスキーの技量をあげるために自分なりにも頑張ってやってみたいと思います。

皆さんご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします

機 関 紙 部

- ・部会 10/13
- ・編集会議 11/30
- ・編集会議 12/23

- ・パーソナル編集長アプリの個人購入費を活動費から半額補助、事務所使用アプリは一般予算で購入を運営委員会に提案し確認する。

安全対策部

- ・救急救命講習実施の検討する。
- ・「安全マニュアル」を会員用に印刷配布。
- ・「スノースポーツ安全講座」リーフを指導員、

安全対策部員に印刷、配布する。

ク ラ ブ だ よ り

WEスキー



11月26日錦秋の高尾・神護寺・清滝へハイキング。10名が参加。8月以来の再会で紅葉の秋を満喫しました。

JRバスと市バスで槇ノ尾の集まり、清滝川を南下し清滝へ途中のベンチで昼食。楠本さん手作りの卵焼きの差し入れもいただきながらなごやかに交流来年のスキー行事の相談もしました。

清滝のバス停から帰る予定が、バスの出発時刻に間に合わず、トンネルを歩き愛宕寺と鳥居本の町並みの楽しみも追加であり、嵐山の清涼寺で次の再会を願いながら流れ解散となりました。

森の云



ランチ（毘沙門堂近く）

「Cafe monogataru」



<ハイキング>

- 8/17 大文字山
- 9/15 大文字山 4名
- 11/22 紅葉狩り＆ランチ 3名

<オフトレ>

- 6/28・9/20・10/11・11/22 山科体育館会議・研修室 延べ20名
- 「古武術の動きから学ぶ身体操法」

～中高年そのための全身運動～

<シネマとランチの会>

- 9/29 映画「遠い山なみの光」
- 10/29 観覧「民藝誕生100年
—京都が紡いだ日常の美—」
- 11/22 毘沙門堂紅葉狩り
- 11/29 映画「てっぺんの向こうに
あなたがいる」

<2026シーズン企画>

- 1/2～5 正月スキー 野沢温泉
- 1/18～23 蔵王温泉スキーツアー
- 近郊日帰りスキー
- 2/6 余呉高原リゾートヤフースキー場
- 2/18 グランスノーオ伊吹スキー場
- 未定 びわ湖バレースキー場
- 3/19～22 納会スキーツアー
野沢温泉

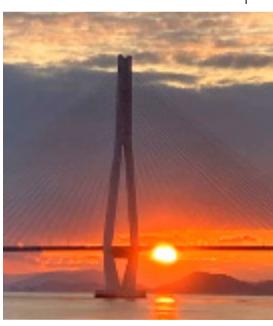
シティ



<シティクラブ行事>

- * 忘年会 12月上旬頃に予定
- * お正月スキーツアー
2026年1/2(金)～4日(土)
- 場所：野沢温泉スキー場・宿：まるじ
- * 日帰りスキー2月頃に予定

雪おこし



*11/19(水)～20(木)

1泊2日の有志企画で、しまなみ海道サイクリングを実施しました。詳細はスキー協HPクラブの広場にて「雪おこし通信No.139」をご覧ください。

<12月の例会>

*例会はいずれも予定です。

- ・11日(木)：六甲山人工スキー場
- ・26日(金)：場所未定

<1月の例会>

- ・7日(水)初滑り日帰り例会：場所未定
- ・13日(火)日帰りスキー例会：場所未定
- ・28日(水)日帰りスキー例会：場所未定

<2月の例会>

- ・3日(火)～4日(水)宿泊スキー
：ハチ高原・ハチ北スキー場
- ・11日(水)第2回親子スキー：神鍋
- ・14日(土)～15日(日)
京都スキー協ジョイナススキー
- ・25日(水)日帰りスキー例会：場所未定

<3月の例会>

- ・6日(金)～8日(日)木曽福島スキー場
- ・28日(土)テニス例会
(雨天：バドミントン 五箇小)

望峰(ちね)



8月23日～24日、福井県・高浜の「赤礁崎(アカグリサキ)オートキャンプ場」でキャンプ。

◎《40周年企画》

カナダ・ウイッスラーツアー
12/5(金)～11(木)

①正月ツアーア

1/1(木)～4日(日) 志賀高原

②1月ツアーア

1/21(水)～27日(火) 蔵王

③2月ツアーア

2/7(土)～2月10日(火) 野沢温泉

④3月ツアーア

3/5(木)～3/8(日) 白馬ツアーア

※近郊のスキー場へ。

◎日帰りツアーアも検討しています。

*各クラブ通信のバックナンバーや近況報告・行事案内は、京都スキー協ホームページのQRコードか「京都スキー協」で検索してください。

「クラブの広場」から閲覧できます。



第44回反核・反原発・平和マラソン開催

2025年9月28日、京都市内で「第44回京都反核・反原発平和マラソン」が開催され、27人が参加しました。11時30分に梨木神社前をスタートし、銀閣寺道～哲学の道～南禅寺～平安神宮前～梨木神社前までの9.5kmのコースを小学生2人から中学生、78歳のベテランまで幅広い年代の24人のランナー（自転車1人・エイドカー2人）たちが反核・反原発・平和を訴えて駆け抜けました。

コース上では外国人を中心に多くの観光客が出迎えてくれ、昨年に引き続き、英語版の手書きゼッケンを交えて「ノー・ニューカス！」「ウィー・ラブ・ピース！」とアピール。「ノー・ウォー！」「ガンバレ！」と励ましの声をかけてもらいました。

スタート前、外国人観光客がゼッケンを見ながら「日本には核兵器はないけど、沢山の原発はありますね。頑張ってください（英語で）」と声をかけてくれ、意識の高さが大変心に残りました。

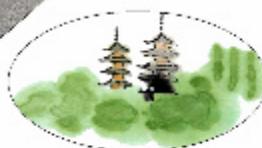
（「スポーツ・人権・平和アクション」facebookより）



参加者の中で
最高齢、森田英
二さん、最年少
川坂涼葉さん。
78歳と小学2
年生。二人とも
スキー協です。
がんばりました
ね！



やった～ゴール！



平和大好き！自分でゼッケン
書いたよ！
仲良し姉妹で走ってくれた川坂さん親子が
可愛すぎて、佐野おばちゃんはメロメロにな
りました。楽しかったよ。
ありがとう



スキー協・技術のページ

基本技術としての真下への横滑り

2025~2026年のスキー協のテーマは「真下への横滑り左右連続から谷回りターン技術への展開」です。毎年テーマは変わりますが、テーマの設定は改定された教程がこの数年でだんだんと整理されてきているように思っています。この数年、「真下への横滑り」が重視されてきているように感じる指導員の方も多いのではないでしょうか。しかし、そうはいっても「苦手」な技術だと感じている方も多いのではないでしょうか。

私は、この「真下への横滑り」の技術は、基本的なスキー滑走技術を習得し、自分のスキー技術の基本的な操作が正確に行われているのかを点検するうえでも重視すべき技術だと思っています。教程のどの段階でこの技術を取得するのかを見直してみると、この技術は初步のパラレルのⅠとⅡの間で取得する技術となっています。

検定でも最初に挙げられている技術であ

り、決して上級者の技術ではありません。むしろ、シーズンが始まるこの時期にしっかりと練習しておくべき基本的な技術といえます。また、そのためには「正しい技術」の理解と「練習」が必要です。この技術は体力や年齢に関係なく誰もが練習できる技術だと思っていますので、指導員だけでなく一般的のスキーヤーにも練習してほしい技術です。個人的には、不整地を滑るうえでも重要な技術だと思っています。「苦手」な指導員の方も多いかもしれません、京都スキー協会でも指導員の研修やジョイナススキーでの指導の中に工夫をして取り入れていきたいと思っています。では、「真下への横滑り左右連続から谷回りターン技術への展開」についての技術的なポイントはどこなのか、次回から整理して解説していきたいと思います。→続きます。

京都スキー協技術・指導員部長

藤岡 孝之

関西ブロック学習交流会資料より

①の局面
横滑りの局面



「横滑りの基本姿勢」が維持できているか

③の局面
先落としの局面



谷脚のトップに荷重がかけられているか

②の局面
足場を作る局面



体軸がぶれてしまっていないか

④の局面
谷脚荷重の局面



次の谷脚に荷重がかけられているか

Join Us Now! 是非ご参加下さい!

ジョイナススキーツアー

2026 in ハチ高原開催

日程：2026年2月14日(土)～15日(日)

宿泊先	ホテルブロードこのはな 〒667-1124 兵庫県養父市丹戸909-1 (ハチ高原内) ☎ 079-667-7111 FAX 079-667-7114
参加費	スキー協会員 27,000円 (会員外は2,000円増) 小学生以下 22,000円 (幼児は必要経費のみ) ◎会員の家族は、会員外となります。 参加費には、交通費、宿泊費【1泊2食】、講習料、保険代を含みます。 (リフト代は別途必要です。) 夕食はかにすき・但馬牛すき焼きのどちらかが選べる豪華版です。
申込締切	2026年1月24日(木)ただし、定員になり次第締め切ります。
申込方法	スマホ・タブレット、パソコンもしくはFAXにて
FAX	077-598-5372 (中島剛)
お問合せ	kikyoya1129@yahoo.co.jp (早川雅博)



案内および
申込書は
左記QRコード
から



申込み
フォームは
左記QRコード
から



シーズン企画行事予定 (全国・関西ブロック・京都スキー協)

- 2025 12/6～7 中央研修会
志賀高原 横手山&熊の湯スキー場
- 12/19～21 関西ブロック
初滑りレベルアップ・指導員養成・研修会
志賀高原 一ノ瀬スキー場
- 2026 1/7～9 京都スキー協
SL練習会 白峰アルペン競技場
- 1/17～18
京都スキー協・指導員雪上研修会
ハチ高原スキー場
- 2026 1/30～2/1
関西・東海ブロック合同ポール練習会
- 御岳スキー場
• 2/14～15
京都スキー協ジョイナススキーツアー
ハチ高原スキー場
- 2/20～22 第52回全国競技大会
湯ノ丸高原スキー場
- 2/28～3/1
関西・東海ブロック合同競技大会
御岳スキー場
- 4/3～5 関西ブロック
レベルアップ・指導員研修会&検定会
志賀高原一ノ瀬スキー場